



## 平成28年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年5月6日

上場取引所 東

上場会社名 OBARA GROUP株式会社

コード番号 6877 URL <http://www.obara-g.com/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 小原 康嗣

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 飯高 成美

TEL 046-271-2124

四半期報告書提出予定日 平成28年5月13日

配当支払開始予定日

平成28年6月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年9月期第2四半期の連結業績(平成27年10月1日～平成28年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第2四半期	27,720	△0.1	6,073	1.7	6,066	△2.6	3,719	0.6
27年9月期第2四半期	27,755	14.1	5,969	18.5	6,227	15.4	3,695	3.3

(注) 包括利益 28年9月期第2四半期 1,852百万円 (△70.3%) 27年9月期第2四半期 6,245百万円 (34.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第2四半期	200.47	192.28
27年9月期第2四半期	191.57	—

平成27年9月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年9月期第2四半期	60,003	36,110	60.0
27年9月期	67,722	42,342	58.5

(参考) 自己資本 28年9月期第2四半期 36,027百万円 27年9月期 39,626百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	30.00	—	70.00	100.00
28年9月期	—	30.00	—	—	—
28年9月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

27年9月期期末配当金の内訳 普通配当60円 記念配当10円

### 3. 平成28年9月期の連結業績予想(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,000	△4.1	9,300	△14.4	9,650	△15.4	5,670	△25.3	305.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年9月期2Q	20,869,380 株	27年9月期	20,869,380 株
28年9月期2Q	2,492,740 株	27年9月期	2,277,140 株
28年9月期2Q	18,551,332 株	27年9月期2Q	19,290,275 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社グループが現時点で入手した情報に基づき判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(企業結合等関係)	11
(重要な後発事象)	11
4. 補足情報	12
(1) 生産、受注及び販売の状況	12
(2) 地域別販売状況	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成27年10月1日～平成28年3月31日)における世界経済は、米国において景気回復の動きが持続したものの、アジア地域を始めとする新興国の経済成長の鈍化や欧州地域の不透明な景況感の継続などから、全体として低成長で推移しました。

我が国経済につきましては、個人消費に足踏みが見られるものの、設備投資は持ち直しの動きを示すなど、緩やかな景気回復が続きました。

このような状況の下、当社グループと深く関わる自動車業界につきましては、中国を中心としたアジア地域と米州地域などで、新モデル投入などによる設備投資が行われるとともに、生産活動についても堅調な動きが見られました。一方、同じく当社グループと深く関わるエレクトロニクス業界では、新興国経済の成長鈍化などを背景として設備投資及び生産活動に市況調整が見られました。

当社グループは、このような経営環境に対応するため、各市場動向に応じ、設備品及び消耗品の拡販に努め、ローカルニーズに対応した製品投入を進めるとともに、技術革新・次世代装置などの高付加価値製品の開発にも注力してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高277億20百万円(前年同期比0.1%減)、営業利益60億73百万円(前年同期比1.7%増)、経常利益60億66百万円(前年同期比2.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は37億19百万円(前年同期比0.6%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①溶接機器関連事業

溶接機器関連事業につきましては、取引先である日系・欧米系・アジア系自動車メーカーにおいて、中国を中心としたアジア地域や米州地域などで堅調な設備投資が行われ、世界各地の自動車生産は概ね高水準となりました。このような環境の下、当部門として設備品及び消耗品の拡販を図ったことなどにより、業績は好調に推移しました。

この結果、部門売上高は190億75百万円(前年同期比1.3%増)、部門営業利益は43億94百万円(前年同期比7.1%増)となりました。

#### ②平面研磨装置関連事業

平面研磨装置関連事業につきましては、スマートフォンなど主要エレクトロニクス製品の販売軟調などを受け、取引先であるエレクトロニクス関連素材においても、設備投資及び生産活動に調整の動きが見られました。このような環境の下、当部門として設備品及び消耗品の拡販を図ったものの、業績は前年同期を下回りました。

この結果、部門売上高は86億50百万円(前年同期比3.2%減)、部門営業利益は17億29百万円(前年同期比14.5%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### 1 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は600億3百万円と、前連結会計年度末に比べて77億19百万円減少しました。現金及び預金が7億3百万円、受取手形及び売掛金が2億7百万円、その他流動資産が3億59百万円、その他有形固定資産が12億65百万円、のれんが5億6百万円増加した一方、有価証券が81億81百万円、棚卸資産が25億80百万円減少したことなどによります。

負債は238億93百万円と、前連結会計年度末に比べて14億87百万円減少しました。支払手形及び買掛金が2億95百万円、短期借入金が9億33百万円、未払法人税等が4億7百万円、繰延税金負債が5億48百万円増加した一方、前受金が31億82百万円、賞与引当金が5億1百万円減少したことなどによります。

純資産は361億10百万円と、前連結会計年度末に比べて62億32百万円減少しました。利益剰余金が17億25百万円増加した一方、子会社株式追加取得により資本準備金及び非支配株主持分がそれぞれ23億73百万円及び26億33百万円、自己株式の取得により8億72百万円、円高により為替換算調整勘定が20億39百万円減少したことなどによります。

### 2 キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は126億34百万円と、前連結会計年度末と比べて80億22百万円減少しました。

営業活動により得られた資金は、35億97百万円となりました。税金等調整前四半期純利益が59億71百万円、たな卸資産の減少額が22億86百万円、仕入債務の増加額が5億76百万円となった一方、売上債権の増加額が9億64百万円、前受金の減少額が30億17百万円、法人税等の支払額が11億75百万円発生したことなどによります。

投資活動により支出した資金は36億38百万円となりました。定期預金の純増加額が8億43百万円、有形固定資産の取得による支出が15億57百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が11億48百万円発生したことなどによります。

財務活動により支出した資金は72億68百万円となりました。短期借入金の純増加額が8億23百万円となった一方、自己株式の取得による支出が8億72百万円、配当金の支払額が13億1百万円、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出が59億6百万円発生したことなどによります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年9月期の連結業績予想につきましては、現時点において概ね計画通りに推移しており、平成27年11月9日に発表しました業績予想に変更はありません。

なお、為替レート的前提を1米ドル=119円から1米ドル=112円に変更しております。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## 会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。また、当第2四半期連結会計期間末の資本剰余金が2,373百万円、利益剰余金が691百万円減少しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,205	17,909
受取手形及び売掛金	16,439	16,646
有価証券	8,363	181
商品及び製品	6,904	4,817
仕掛品	2,430	2,375
原材料及び貯蔵品	3,281	2,843
その他	1,996	2,356
貸倒引当金	△580	△661
流動資産合計	56,041	46,469
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,259	3,165
土地	3,146	3,298
その他(純額)	2,253	3,519
有形固定資産合計	8,659	9,984
無形固定資産		
のれん	221	727
その他	627	587
無形固定資産合計	848	1,315
投資その他の資産		
投資有価証券	1,603	1,545
その他	652	752
貸倒引当金	△83	△63
投資その他の資産合計	2,172	2,234
固定資産合計	11,680	13,534
資産合計	67,722	60,003

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,841	4,137
短期借入金	756	1,690
1年内返済予定の長期借入金	16	15
未払法人税等	1,076	1,483
前受金	6,568	3,385
賞与引当金	1,149	648
その他	1,253	1,304
流動負債合計	14,661	12,665
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	7,063	7,056
長期借入金	137	122
繰延税金負債	3,035	3,583
役員退職慰労引当金	43	44
退職給付に係る負債	251	250
その他	186	170
固定負債合計	10,718	11,227
負債合計	25,380	23,893
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,925	1,925
資本剰余金	2,373	—
利益剰余金	37,397	39,123
自己株式	△6,584	△7,456
株主資本合計	35,113	33,593
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	373	334
為替換算調整勘定	4,139	2,099
その他の包括利益累計額合計	4,513	2,434
非支配株主持分	2,715	82
純資産合計	42,342	36,110
負債純資産合計	67,722	60,003



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
売上高	27,755	27,720
売上原価	17,611	17,631
売上総利益	10,144	10,089
販売費及び一般管理費	4,174	4,016
営業利益	5,969	6,073
営業外収益		
受取利息	132	166
受取配当金	7	9
為替差益	87	—
その他	84	97
営業外収益合計	311	273
営業外費用		
支払利息	21	20
為替差損	—	203
その他	32	57
営業外費用合計	53	280
経常利益	6,227	6,066
特別損失		
固定資産除却損	—	95
特別損失合計	—	95
税金等調整前四半期純利益	6,227	5,971
法人税、住民税及び事業税	1,876	1,553
法人税等調整額	269	552
法人税等合計	2,145	2,106
四半期純利益	4,081	3,865
非支配株主に帰属する四半期純利益	386	146
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,695	3,719

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
四半期純利益	4,081	3,865
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	93	△38
為替換算調整勘定	2,070	△1,973
その他の包括利益合計	2,164	△2,012
四半期包括利益	6,245	1,852
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,742	1,640
非支配株主に係る四半期包括利益	503	212

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	6,227	5,971
減価償却費及びその他の償却費	316	298
のれん償却額	30	57
貸倒引当金の増減額(△は減少)	185	100
賞与引当金の増減額(△は減少)	△419	△472
受取利息及び受取配当金	△139	△175
支払利息	21	20
売上債権の増減額(△は増加)	△594	△964
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,590	2,286
未収入金の増減額(△は増加)	△52	△479
仕入債務の増減額(△は減少)	595	576
前受金の増減額(△は減少)	△944	△3,017
その他	△326	420
小計	3,308	4,623
利息及び配当金の受取額	136	169
利息の支払額	△20	△19
法人税等の支払額	△1,792	△1,175
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,632	3,597
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	△160	△843
有形固定資産の取得による支出	△632	△1,557
有形固定資産の売却による収入	35	22
有形固定資産の除却による支出	—	△108
投資有価証券の取得による支出	△4	△5
投資有価証券の売却及び償還による収入	0	0
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,148
その他	54	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△705	△3,638
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,491	823
長期借入れによる収入	165	—
長期借入金の返済による支出	△112	△7
自己株式の取得による支出	△1,719	△872
配当金の支払額	△965	△1,301
非支配株主への配当金の支払額	△213	△4
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△5,906
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,353	△7,268
現金及び現金同等物に係る換算差額	786	△713
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	359	△8,022
現金及び現金同等物の期首残高	17,297	20,657
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,656	12,634

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年12月29日付で、連結子会社OBARA KOREA CORP.の株式を追加取得いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、資本剰余金が2,373百万円、利益剰余金が691百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が一百万円、利益剰余金が39,123百万円となっております。

また、当社は、平成28年1月25日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議しました。これを受け、市場買付けにより、平成28年1月26日から平成28年3月31日までに普通株式215,600株、872百万円の取得を行いました。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年10月1日 至 平成27年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	溶接機器 関連事業	平面研磨装置 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,827	8,927	27,755	—	27,755
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	5	7	△7	—
計	18,829	8,933	27,763	△7	27,755
セグメント利益	4,104	2,022	6,127	△157	5,969

(注) 1 セグメント利益の調整額△157百万円には、セグメント間取引消去△7百万円及び報告セグメントに配分していない全社費用△149百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	溶接機器 関連事業	平面研磨装置 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,075	8,645	27,720	—	27,720
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	5	5	△5	—
計	19,075	8,650	27,726	△5	27,720
セグメント利益	4,394	1,729	6,123	△50	6,073

(注) 1 セグメント利益の調整額△50百万円には、セグメント間取引消去△5百万円及び報告セグメントに配分していない全社費用△44百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(事業セグメント利益又は損失の測定方法)

第1四半期連結会計期間より、各セグメントの業績をより適切に評価するため、全社費用のうち共通費の配賦方法を変更しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間の「溶接機器関連事業」のセグメント利益が108百万円減少しております。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

企業結合に係る暫定的な処理の確定

平成27年12月29日に行われたA ONE TECH CO., LTD. との企業結合について第1四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、当第2四半期連結会計期間において確定しております。

なお、のれんの金額に修正は生じておりません。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得終了について)

当社は、平成28年1月25日開催の取締役会決議に基づき自己株式を取得していましたが、当該自己株式の取得は平成28年4月11日をもって終了いたしました。決算日後に取得した自己株式は以下のとおりであります。

- (1) 取得対象株式の種類：当社普通株式
- (2) 取得した株式の総数：85,600株
- (3) 株式の取得価額の総額：327百万円
- (4) 取得方法：東京証券取引所における市場買付け
- (5) 取得期間：平成28年4月1日から平成28年4月11日まで（約定ベース）

(ご参考) 上記取締役会決議に基づき、平成28年4月11日までに取得した自己株式の累計

- (1) 取得対象株式の種類：当社普通株式
- (2) 取得した株式の総数：301,200株
- (3) 株式の取得価額の総額：1,199百万円
- (4) 取得方法：東京証券取引所における市場買付け
- (5) 取得期間：平成28年1月26日から平成28年4月11日まで（約定ベース）

## 4. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ①生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(百万円)	前年同期比(%)
溶接機器関連事業	14,617	△3.7
平面研磨装置関連事業	2,949	△54.3
合計	17,566	△18.8

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2 金額は、販売価格で表示しております。  
 3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ②受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同期比(%)	受注残高(百万円)	前年同期比(%)
溶接機器関連事業	20,080	+0.3	7,173	+1.6
平面研磨装置関連事業	4,556	△40.7	5,882	△48.5
合計	24,636	△11.1	13,055	△29.3

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ③販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同期比(%)
溶接機器関連事業	19,075	+1.3
平面研磨装置関連事業	8,645	△3.2
合計	27,720	△0.1

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (2) 地域別販売状況

(単位：百万円)

	日本	アジア パシフィック	米州	その他	計	調整額	四半期連結財務諸表計上額 (注)
売上高							
外部顧客への売上高	6,412	18,632	1,954	721	27,720	—	27,720
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,443	528	105	7	2,085	△2,085	—
計	7,855	19,161	2,060	728	29,806	△2,085	27,720
セグメント利益	993	4,827	279	66	6,165	△92	6,073

- (注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。